

畜産ネットワーク ちば

2013年1月21日
第26号

発行所 (社) 千葉県畜産協会
〒260-0021
千葉市中央区新宿1-2-3
K&T千葉ビル3階
発行人 森 英介

年頭のご挨拶



社団法人
千葉県畜産協会
会長 森 英介

明けましておめでとうございます。謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、当畜産協会の各種事業の推進につきまして、深いご理解と多大なるご支援、ご協力を賜っておりますこと、心より厚く御礼申し上げます。

去った年は東日本大震災・福島原発事故・放射能汚染問題という未曾有な大災害から立ち直ることに一所懸命でしたが、その爪痕は深く、その痛手から本格的に立ち直ったとは言いきれない状況にあります。

更には、政治・経済が混迷する中、TPP参加問題は先行き不透明なまま越年し、飼料高騰も止まるところがないなど、畜産業界にとって暗い影に覆われたままとなっております。

このように大変な一年ではありましたが、畜産

関係者が様々な困難な課題に一丸となって前向きに取り組んだことは、今後の畜産業界の発展・躍進につながるものと強く確信しているところでございます。

当畜産協会といたしましても、畜産経営安定対策に精一杯取り組むとともに、東京電力に対する肉用牛損害賠償請求や畜産物の消費拡大の推進、生産性の向上等に努めてまいりました。

本年も、TPP等の国際貿易の諸問題、口蹄疫や鳥インフルエンザ、オーエスキー病・BSE等の家畜防疫の問題、円レートや飼料価格の動向等予断を許さない状況が続き、畜産業界にとって厳しい環境となるものと考えられます。

社団法人千葉県畜産協会といたしましては、本年には公益社団法人へと移行し、より一層、県民・消費者と生産者、関係団体・行政機関等との密接な連携に努め、安心・安全な県産畜産物が安定的に供給されるよう取り組んでまいり所存でございます。

そのためにも、健全な協会運営により一層努め、様々な分野でお役に立てますよう心掛けてまいり所存でございますので、関係各位のご理解・ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成25年が皆様方にとりまして、輝かしく希望のもてる飛躍の年となりますことをご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

もくじ

・年頭のご挨拶……………	(1)	・青年部養豚経営セミナー開催……………	(10)
・農業産出額の公表について……………	(2)	・平成24年度ナイスパークチバ活動報告会盛大に開催……………	(10)
・「第2回チバザビーフ枝肉共励会・情報交換会」の開催について……………	(2)	・地元国会議員に対し養豚経営安定対策事業拡充要請……………	(11)
・オーエスキー病清浄化対策の推進状況について……………	(3)	・平成24年度千葉県豚共進会……………	(11)
・第50回畜産関係試験研究成果発表会のお知らせ……………	(4)	・平成24年度養豚経営安定対策事業……………	(11)
・肉用牛損害賠償請求 支払状況と今後の請求予定のご案内……………	(6)	・NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信……………	(12)
・飼料高騰に対応した特例制度のご案内……………	(7)	・ちば畜産レディースネットワーク会報……………	(14)
・畜産機械施設リースのご案内……………	(8)	・2012年(第6回)千葉県畜産フェア開催……………	(15)
・千葉県産中ヨークシャー種・こだわりの逸品豚『甘い誘惑』として披露……………	(10)	・平成24年度「農水産就業相談会」開かれる……………	(15)
		・肥育牛補てん金単価について……………	(16)

農業産出額の公表について

平成24年12月3日、農林水産省から平成23年の都道府県別農業産出額が公表されました。

本県の農業産出額は、前年に比べ39億円減少の4,009億円で、鹿児島県に抜かれ、全国第4位となりました。

畜産につきましては、前年に比べ2億円減少したものの、1,034億円と1,000億円台をキープし、全国第6位の地位を維持しました。

東日本大震災及び原子力発電所事故に伴う放射能問題の影響を受けながらも2億円の減少にとどまれたのは、生産者及び関係者の皆さんの御尽力の賜と、改めて感謝申し上げます。

県では現在、25年以降の農業産出額向上及び生産者所得向上に向けて、農林水産部内に検討組織を立ち上げ、検討しているところです。

今後とも県の施策事業等につきまして、皆様方の御理解、御協力をお願いいたします。(千葉県農林水産部畜産課)

(参考) 本県の農業産出額(畜産部門)の推移「生産農業所得統計」

単位：億円

区分	平成22年			平成23年		
	産出額	構成比	全国順位	産出額	構成比	全国順位
乳用牛	274	26.4	4	262	25.3	5
肉用牛	44	4.2	29	46	4.4	29
豚	331	31.9	5	347	33.6	4
鶏	374	36.1	5	365	35.3	5
計	1,036	-	6	1,034	-	6

「第2回チバザビーフ枝肉共励会・情報交換会」の開催について

昨年度は、福島原発事故に伴う牛肉消費量の減退や価格低迷が続いたことから、県及び肉牛生産者・関係団体が一丸となって「元気もりもり・千葉の牛肉の集い」を開催いたしました。

今年度は、チバザビーフ協議会主催で千葉県産牛肉の美味しさと安全・安心をアピールし、知名度の向上を図るため、チバザビーフ枝肉共励会と併せて、首都圏流通業者等との情報交換会を開催しますので、お知らせします。

(千葉県農林水産部畜産課)

「第2回チバザビーフ枝肉共励会・情報交換会」

主催	チバザビーフ協議会	
共催	千葉県 社団法人千葉県畜産協会	
後援	東京食肉市場株式会社 全国農業協同組合連合会千葉県本部	
行事名	情報交換会	チバザビーフ枝肉共励会及びセリ
日時	平成25年2月25日(月) 午後6時~7時30分 (受付午後5時30分~)	平成25年2月26日(火) 午前8時~12時
会場	東京都品川区 第1ホテル東京シーフォート	東京都中央卸売市場食肉市場
内容	①千葉県産牛肉のPR ②県産牛肉を使用した料理の提供 ③共励会出品案内 ④生産者と流通業者との情報交換	枝肉審査及び表彰式 出品頭数 黒毛和種 25頭 交雑種 25頭



昨年度のチバザビーフ枝肉共励会・情報交換会の様子



わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 森久保薬品株式会社
<http://www.morikubo.co.jp>



オーエスキー病清浄化対策の推進状況について

オーエスキー病の清浄化については、平成20年度から対策指導が強化され平成24年度までの5か年間で清浄化を達成することを目標に、これまで取り組んでまいりましたが、現時点においては清浄化への道半ばにあります。そこで、これまでの取り組みの成果と今後の対策指導について紹介いたします。(事務局長 榛葉)

(1) これまでの取り組みの成果

① オーエスキー病対策の中心地域にある東部家畜保健衛生所及び北部家畜保健衛生所管内の平成21年から平成23年の3か年における清浄化への進捗状況は、農場ベースで野外抗体陽性率が54.4%から40.4%に低下するとともに、頭数ベースでは14.4%から5.0%へと飛躍的な低下が認められる。これは全頭ワクチン接種の励行と野外感染豚のとう汰による取組みが定着した成果と考えられる。(東部家畜保健衛生所調査より)

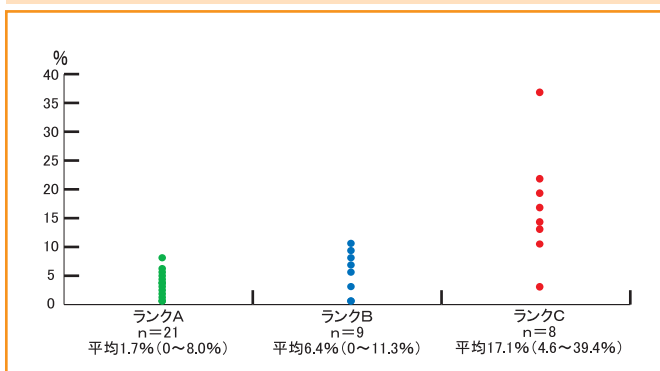
清浄性の進捗状況(頭数ベース)				清浄性の進捗状況(農家ベース)			
	H21 陽性数/検査数 (陽性率・%)	H22 陽性数/検査数 (陽性率・%)	H23 陽性数/検査数 (陽性率・%)		H21 陽性数/検査数 (陽性率・%)	H22 陽性数/検査数 (陽性率・%)	H23 陽性数/検査数 (陽性率・%)
東部家保管内	760/4026 (18.9)	419/3807 (11.0)	471/9766 (4.8)	東部家保管内	112/186 (60.3)	80/171 (46.8)	64/161 (39.8)
北部家保管内	339/3601 (9.4)	220/3233 (6.8)	277/5135 (5.4)	北部家保管内	56/123 (45.5)	45/117 (38.5)	47/114 (41.2)
合計	1099/7627 (14.4)	639/7040 (9.1)	748/1490 (5.0)	合計	168/309 (54.4)	125/288 (43.4)	111/275 (40.4)

② ちばNOSA I 連・北部家畜診療所の加入農場の全頭検査における清浄度ランク別の野外抗体陽性率はランクAで1.7% (0~8.0%)、ランクBで6.4% (0~11.3%)、ランクCで17.1% (4.6~39.4%)であり、清浄化対策の進展に伴い野外抗体陽性率の低下が認められる。(ちばNOSA I 連・北部家畜診療所調査より)

AD清浄化ランキング

	繁殖豚に 野外株抗体なし	野外株の 移行抗体なし	肉豚に 野外株抗体なし
ランクA	○	○	○
ランクB	×	○	○
ランクC	×	×	○
ランクD	×	×	×

全頭検査実施農場における
直近の清浄度ランクと陽性・擬陽性率との関連



(2) 今後の対策指導

これまでの清浄化対策の成果が着実に上がってきていることから、全頭ワクチン接種による野外ウイルスの封じ込めを継続するとともに、清浄度確認検査成績をもとに種豚全頭検査のスピード化を図り、野外感染豚のとう汰及び清浄豚の更新を積極的に推進する。

また、清浄化対策に遅れの認められるステータスⅡ・前期の農場を対象に、これまでの成果をもとに畜主への理解醸成に努めるとともに、具体的な清浄化プログラムを提示するなど対策指導の強化を図ることとし、引き続き家畜保健衛生所及びちばNOSA I 連・家畜診療所との密接な連携のもとオーエスキー病清浄化に取り組んでまいります。

(平成24年度オーエスキー清浄化支援対策事業の実施見込)

ワクチン接種頭数	清浄度確認検査頭数	種豚全頭検査頭数	感染豚とう汰頭数
1, 437, 860頭	2, 828頭 (事業他全体3, 603頭)	18, 984頭 (事業他全体25, 592頭)	800頭

第50回畜産関係試験研究成果発表会のご案内

千葉県農林水産技術推進会議畜産部会主催の、試験研究成果発表会が開催されます。
参加は無料で、事前の申し込みも必要ありません。開催日時、場所、課題名等は下記の通りです。
お誘い合わせの上、多数のご来場をお待ち申し上げます。(畜産総合研究センター)

< 酪農・肉牛部門 >

日時：平成25年2月14日(木) 10時～14時

場所：さんぶの森文化ホール(さんぶの森公園内)

山武市埴谷1904-5 (TEL: 0475-80-9700)



□家畜の放牧ゾーニングによるイノシシの農作物被害軽減効果

(畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所 行川貴浩)

イノシシの生息する山と農地との間に牛を放牧し緩衝地帯を作る放牧ゾーニング試験を実施したところ、イノシシの農地への侵入を抑制する効果があることを確認した。

□千葉県酪農における6次産業化条件の検討(第2報)

(畜産総合研究センター 企画環境部 企画経営室 西山厚志)

県内酪農家が乳製品等の製造に関わる事例について、開業年や搾乳牛頭数、所在地の人口密度等を調査した。また、ナチュラルチーズに対する県内消費者のこだわりについて調査した。

□玄米の加工形状の違いが乳牛育成牛、離乳後子牛の発育に及ぼす影響

(畜産総合研究センター 生産技術部 乳牛肉牛研究室 笠井史子)

7ヶ月齢の育成牛と離乳直後の子牛に給与する配合飼料の約40%を玄米に置き換え、玄米の加工形状の違いが子牛の発育等に及ぼす影響を検討した。



□自給飼料を活用した和牛子牛育成用発酵TMR(畜産総合研究センター 生産技術部 乳牛肉牛研究室 小林正和)

自給飼料等を最大限利用した和牛育成用発酵TMRを調製し4から10カ月齢まで育成試験を実施した結果、育成期飼料として有効であった。その後の肥育・枝肉成績も同等だった。

□細断型ロールペーラ利用による自給飼料活用発酵TMRの高品質化と貯蔵性の改善

(畜産総合研究センター 企画環境部 環境飼料研究室 名取美貴)

トウモロコシ等の自給飼料サイレージを組み込んだ発酵TMRを細断型ロールペーラで調製し、発酵品質及び長期貯蔵性に対する調製時季等の影響について検証したので報告する。



□泌乳牛への粗ソフトグレインサイレージ給与効果

(畜産総合研究センター 生産技術部 乳牛肉牛研究室 湯原千秋)

破碎して調製した粗SGSを市販配合飼料と40%置き換えた給与試験を3回実施し、給与の効果及び留意点を明らかにした。また、TMR給与と分離給与での比較を行った。

□泌乳牛用発酵TMR中の粗飼料の半分をイネWCSで置き換え可能(畜産総合研究センター 生産技術部 乳牛肉牛研究室 石崎重信)

粗飼料の半分をイネWCSで置き換えて発酵TMRを調製した。飼料摂取量や乳生産は輸入乾草を用いた発酵TMRと同等だった。発酵TMRは嗜好性が高かった。

□発酵TMR導入の技術的アプローチとしてのお試し給与(畜産総合研究センター 企画環境部 環境飼料研究室 名取美貴)

TMRセンター設立構想のある地域における、自給飼料活用発酵TMRメニューの設計と試作品の調製、品質分析、酪農経営でのお試し給与とアンケート調査などの技術的実証活動を紹介する。

< 養豚部門 >

日時：平成25年2月20日(水) 10時～12時30分

場所：印旛合同庁舎2階大会議室(印旛農業事務所隣)

佐倉市鎗木仲田町8-1 (TEL: 043-483-1128)

※駐車場に限りがありますので、電車を利用するかお車の場合は乗り合わせての来場をお願いします。

□飼料用米(玄米)とエコフィードの配合割合の違いが肥育豚の発育および肉質に及ぼす影響(第2報)

(畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 新垣裕子)

県産飼料用米と県内で製造されたエコフィードを飼料原料としてCP、TDNを調整し、肥育後期の豚に給与し、発育及び肉質に及ぼす影響を検討した。



□揚げ粕の養豚用飼料への利用(畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 村田美里)

揚げ粕を肥育後期の豚に5%及び10%配合給与し、発育、肉質、脂質を調査した結果、10%では薄脂による格落ち及び軟脂の発生が危惧されるため、5%程度までが適当である。

□中ヨークシャー種肥育豚における飼料用米と規格外カンショによるトウモロコシ代替給与技術

(畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 新垣裕子)

県産飼料用米と規格外カンショを肥育後期中ヨークシャー種に給与した結果、発育、肉質は対照と遜色ない成績が得られた。



□泌乳能力の高い種雌豚の授乳期における高蛋白質飼料の給与効果

(畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 細野真司)

泌乳能力の高い母豚における哺乳期間中の高蛋白質飼料の給与が、離乳後の発情再帰日数やその後の産子数にどのような影響を与えたのかを調査したので報告する。

□豚(ランドレース種)の系統造成試験(第3世代)

(畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 高橋圭二)

平成20年度よりボウソウL3の後継豚として、繁殖性、産肉性が高く、肢蹄の強健な種豚の改良に着手した。今年度は、第3世代豚の生産を行ったのでその成績について報告する。



□管内一養豚場における豚繁殖・呼吸障害症候群の初発事例 (北部家畜保健衛生所 防疫課 阿部 敬)

マルチサイト方式の養豚場で肥育豚の死亡が散発し、病性鑑定を実施したところ豚繁殖・呼吸障害症候群ウイルスと豚サーコウイルス2型の混合感染であった。その概要について紹介する。

□畜産排水の窒素低減化処理技術 (畜産総合研究センター 企画環境部 環境飼料研究室 長谷川輝明)

硫黄脱窒法を用いた汚水浄化処理水の窒素低減技術では、窒素低減装置へ投入する硫黄資材種や流入水の窒素負荷量、S/N(硫黄/窒素)比等の条件によっては、高い低減効果が期待できる。

※引き続き同会場にて千葉県畜産協会主催の養豚大会が行われます。

< 養鶏部門 >

日 時：平成25年2月6日(水) 10時30分～13時50分

場 所：成田国際文化会館 成田市土屋303

(TEL:0476-23-1331)



□採卵鶏における省エネルギー電球の利用

(畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 脇 雅之)

白熱電球の代わりにLED電球やCCFL(冷陰極管)電球により、採卵鶏の光線管理を実施することによって産卵成績、卵質を低下させずに、電力料金の節減が図れた。

□ブロイラーへの丸粒粗給与技術

(畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 赤木友香)

丸粒粗によるトウモロコシの代替割合は前期(餌付け～3週齢)半量、後期(4～7、8週齢)半量もしくは全量であっても発育成績などに問題はなく、利用は可能である。

□ベースミックス(粗以外の原料をあらかじめ混合)方式による粗の利用

(畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 脇 雅之)

粗以外の飼料原料をあらかじめ配合したベースミックスの油脂添加量を2.14%に抑えても20%の粗を混合することが可能であり、良好な産卵成績および卵質成績が得られた。



□揚げ粕の養鶏用飼料への利用

(畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 赤木友香)

コンビニ弁当製造工場で天ぷらやフライを揚げる際に排出される揚げ粕が採卵鶏の飼料として利用可能か、また飼料用米と組み合わせることにより有効活用が可能かを検討した。

□千葉県における高病原性鳥インフルエンザ発生農場の経営再開に向けた取り組み

(中央家畜保健衛生所 衛生指導課 西川 潤)

平成23年HPAI発生の県内2農場には有効な埋却地がなく、鶏糞を石灰散布によって封じ込めたが、この方法は早期経営再開を妨げるため、平時の鶏糞処理と埋却地確保が重要である。

□採卵鶏主要銘柄経済性能比較調査

(畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 溝井つかさ)

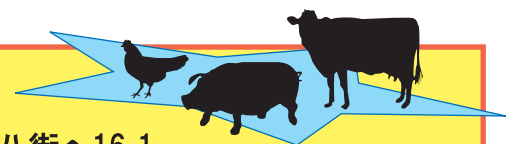
養鶏農家のひな導入時の参考とすることを目的に、県内で飼養されている主な採卵鶏8銘柄について、育成成績、産卵諸性能、卵質、糞中水分率などを調査した。



お問い合わせ先

千葉県畜産総合研究センター 〒289-1113 八街市八街へ16-1

電話:043-445-4511 FAX:043-445-5447 <http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-chikusan/>



肉用牛損害賠償請求

支払状況と今後の請求予定のご案内

千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会 会長 山崎 巖

支払いの確定していない請求回について下記のとおりご案内いたします。

なお、第1回及び第2回は確定済です。(総務課 武田)

第3回請求	請求金額：1,014,603千円(請求日：平成24年3月30日) 請求者数：122名(会員数141名) 請求対象期間：平成23年12月～平成24年2月※1 補償金額：1,133,065千円(当該額最終支払日：平成24年11月29日) (注)一部未払い有り：平成24年12月28日現在
第4回請求	請求金額：677,275千円(請求日：平成24年9月5日) 請求者数：138名(会員数163名) 請求対象期間：平成24年3月～5月※1 補償金額：671,510千円(当該額最終支払日：平成24年12月27日) (注)一部未払い有り：平成24年12月28日現在
第5回請求	請求金額：328,062千円(請求日：平成24年10月17日) 請求者数：94名(会員数164名) 請求対象期間：平成24年6月～7月※1 支払予定：平成25年2月
第6回請求	請求金額：75,794千円(請求日：平成24年11月26日) 請求者数：94名(会員数164名) 請求対象期間：平成24年8月～9月※1 支払予定：平成25年3月 (注1)平成24年8月から肉用牛販売が下落率方式による全国統一の請求様式に変わりました。
第7回請求	請求書提出締切日：平成25年1月31日 請求予定：平成25年2月20日頃、支払予定：平成25年5月頃 請求対象期間：平成24年10月～12月※1 請求対象：肉用牛販売、その他※1 (注2)平成25年1月分以降は役員会において、基本請求月が決定したい窓口団体等を通じてお知らせいたします。

※1 未請求分は全ての請求対象、期間が請求可能です。

情報提供等

- ・生産者会への加入は随時受付しておりますので、お近くの支援団体又は事務局までお問い合わせください。
- ・酪農及び乳肉複合経営の方は県酪連からのご請求になりますのでご注意ください。

支援団体

千葉県家畜商協同組合、千葉県肉牛生産農業協同組合、千葉県配合飼料価格安定基金協会、[千葉県全日本畜産経営者協会]、社団法人千葉県農業協会(肉用牛部会)、株式会社千葉県食肉公社、横芝光町(東陽食肉センター)、県南畜産処理事業協同組合(南総食肉センター)

千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会(事務局：社団法人 千葉県畜産協会)

担当：武田・山田・新城

TEL:043(241)1738 FAX:043(238)1255

瞳は未来を見つめる。



動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売
日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

URL : www.zenoaq.jp

飼料高騰に対応した特例制度のご案内

日本政策金融公庫農林水産事業では、配合飼料価格の高騰又は高止まりの影響を受けた畜産業を営む皆さまが経営の維持安定に必要な資金について、通常の農林漁業セーフティネット資金より有利な条件でご利用いただける制度を用意いたしました。

- ◆ 平成25年1月1日から飼料高騰に対応した特例制度の取り扱いを開始しました。
- ◆ 配合飼料価格の高騰又は高止まりの影響を受けた畜産業を営む方への農林漁業セーフティネット資金は、実質的に担保・保証人が不要となります。
- ◆ ご利用いただける貸付限度額が拡大されます。

◎ ご利用いただける方

配合飼料価格の高騰又は高止まりの影響を受けた畜産業を営む者

◎ 特例制度の概要

- 1 実質的な無担保・無保証人制度
担保：不要
保証：原則として、個人の場合は不要、法人の場合は代表者のみ
- 2 貸付け限度額（既往残高と通算）
一般：600万円
特認：年間経営費等の6／12以内（簿記記帳を行っており特に必要と認められる場合。）

■平成25年1月1日から平成26年3月31日までに貸付決定した案件に限ります。
■取扱枠に限りがあるため、実質無担保・無保証人とできない場合がございます。

《農林漁業セーフティネット資金》

ご利用いただける方	(個人) 農業所得が総所得の過半を占めている方 又は、農業粗収益が200万円以上の方 (法人) 農業売上高が総売上高の過半を占めている方 又は、農業売上高が1,000万円以上の方
資金の使いみち	経営の維持安定に必要な長期運転資金
利 率	0.35～0.55% (平成24年12月19日現在)
融資期間	10年以内 (うち据置期間3年以内)

■審査の結果により、ご希望に添えない場合がございます。

お問い合わせ先

株式会社日本政策金融公庫 千葉支店

電話：043-238-8501 FAX：043-238-8506

酪農、肉牛、養鶏、養豚、ふれあい牧場などの事業を行っている皆様へ

畜産機械施設リースのご案内

リースの特徴・仕組

経営資金が有効に使えます

機械施設の導入時に多額の購入資金を必要としないので大切な資金を有効に活かすことができます。

また、貸付利子はリース残高の1.0%(年)で、有利です。

導入する機械施設、購入業者が選べます

リース物件は、農家が自由に選定でき、購入価格も業者と交渉して決めていただきます。

リース物件は、リース終了後は自分のものになります

リース期間が終わったら、購入価格の100分の10の額に消費税相当額を加えた額でリースを受けた方に譲渡されます。

リース期間中は、偶発的事故的損害が補償されます

リース機械施設は割安な掛金で損害保険(動産総合保険)に一括加入されるので、リース期間中の火災・落雷・盗難等偶発的な事故による損害が補償されます。

農家には農業協同組合を通じてリースされます

リース物件は、農家を選んだ業者から当協会が購入し、農業協同組合にリースします。農家はこの農業協同組合から再リースされます。

特認貸付けもできます

リース可能な機械施設は別表のとおりですが、これ以外でも農林水産省生産局長の承認を受けてリースすることができます。本措置を利用して、ふれあい牧場のアイスクリーム・チーズ製造用機械、動物用ケージ、ベンチ、簡易牧柵などのリースが可能です。詳しくは当協会にご相談ください。

リース期間の短縮・延長ができます

農家の要望によって、例えば法定耐用年数7年の機械の貸付けにおいて、通常のリース期間6年を4年から9年の範囲で変更することができます。

中古機械もリースします。

草地造成や自給飼料生産用の機械施設で一定の基準を満たすものは、中古機械もリースの対象となります。

信用保険にも加入(任意)できます

当協会から畜産施設リースを受けている農家の方が、いろいろな事情で経営が破たんし、リース料を納入できなくなって保険事故と認定された場合に、保険会社が代わりに保険金として支払う制度です。

- (概要)
- 1 対象となる機械施設は畜産機械施設で、保険期間は開始から最長7年間です。(ただし、加入時において赤字経営の方は対象から外れます。)
 - 2 保険料はリース料残高の(残債)の0.5%です。保険金の上限を500万円としていることから、1年間の保険料は最大で25,000円となります。
 - 3 一旦この保険に加入すると、次回以降のリース機械はすべて保険に加入することとなります。ただし、複数の機械が対象となっても、保険金の上限は500万円です。

随時、迅速に貸付けします

当協会のリース申請は、随時、受け付けており、貸付契約も迅速な処理で、農家が必要な時に早急な機械施設の整備が可能です。

リース料の支払い例

例 (リース期間9年)リース機械価格100万円(消費税抜)、貸付開始4月1日の場合

(単位:円)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	譲渡価格	合計
リース料	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	1,000,000
消費税	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	50,000
利子	9,750	8,750	7,750	6,750	5,750	4,750	3,750	2,750	1,750	-	51,750
保険料	13,680	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13,680
年間支払合計額	128,430	113,750	112,750	111,750	110,750	109,750	108,750	107,750	106,750	105,000	1,115,430

例 (リース期間6年)リース機械価格100万円(消費税抜)、貸付開始4月1日の場合

(単位:円)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	譲渡価格	合計
リース料	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	100,000	1,000,000
消費税	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	5,000	50,000
利子	9,625	8,125	6,625	5,125	3,625	2,125	-	35,250
保険料	9,260	-	-	-	-	-	-	9,260
年間支払合計額	176,385	165,625	164,125	162,625	161,125	159,625	105,000	1,094,510

注1:年間支払い合計額は、毎年、3月末と9月末の2回に分けて支払っていただきます。

注2:保険料は、この機械が自給飼料用・据付固定型の機械の場合で、機械の種類等によって若干異なります。

支払いの時期は第1回目のリース料の支払いと同時です。

注3:このほか、このリースを扱う農協等の事務手数料がかかる場合があります。

注4:中古機械のリース料についても上表に準じて適用されます。また、損害保険の対象にもなります。

主なリース機械と期間

貸付機械施設名	主要なリース機械	リース期間
自給飼料生産 利用機械施設	<ul style="list-style-type: none"> ●トラクター ●ロータリー ●バキュームカー ●モアコンディショナー ●フロントローダー ●カッター ●フォレンジハーベスター ●レーキ類 ●ラッピングマシン ●ロールカッター ●ロールベラー ●ペールディストリビューター ●テッダー類 ●飼料攪拌機 ●マニアスプレッター ●播種機 ●ホイールローダー ●コーンハーベスター ●自動給餌機 ●ヘイペイラー ●コーンプランター ●ワゴン類 ●ディスクモア等モア類 ●FRPサイロ 	6年
	●ダンプカー	5年
搾乳施設	●パイプラインミルクカー ●ミルクングパーラー ●搾乳ロボット ●搾乳ユニット自動搬送装置	6年
生乳冷却貯蔵施設	●バルククーラー ●プレートクーラー	6年
生乳検査機械	●生乳成分測定器	6年
精液保管等施設	●凍結精液保管器 ●精液輸送車(特殊自動車の場合は5年) ●液体窒素保管器 ●補給器	6年
畜舎環境改善 機械施設	●消毒機 ●消毒用自動車(特殊自動車の場合は5年) ●細霧装置 ●節電装置 ●哺育器 ●通風装置	6年
中小家畜管理機械施設	●自動給餌器 ●豚分娩ゲージ ●鶏舎用カーテン巻上げ機	6年
特認機械施設	●検査分析機器 ●孵卵器 ●アイスクリーム製造機(従前の貸付例)	

*リース期間は、要望により、上表の6年のものは4年から9年、同5年のものは2年から4年にすることができます。

この表は、リースしている機械の一部です。この表以外にもリースできる機械はたくさんあります。

詳しいお問い合わせは・・・

(社)千葉県畜産協会、お近くの農業協同組合又は(財)畜産近代化リース協会までご連絡下さい。

(財)畜産近代化リース協会

TEL:03-3584-0899

FAX:03-3584-0758

(社)千葉県畜産協会 総務・企画部

担当:奥住

TEL:043-242-6333

FAX:043-238-1255

千葉県産中ヨークシャー種・こだわりの逸品豚 『甘い誘惑』として披露(平成24年11月28日)



『甘い誘惑』という名の豚肉

まい泉オリジナルブランド豚『甘い誘惑』はとんかつに適した豚肉とは何かを追求して誕生。

その特徴は、きめ細かく、やわらかな肉質と甘くとろける脂身の美味しさ。ジューシーで、それでいて豚本来のコクのある旨みは一度食べたならまた食べたくなるほどです。

各地から上質な豚肉を取り寄せ、それをまい泉流の美味しいとんかつに作り上げることに努め、同時に「美味しい豚」を育てることに研究している井筒まい泉(株)は、千葉県富里市の養豚家 堀江光洋氏が生産する希少な上質豚として有名な「千葉県産の純粋中ヨークシャー種」にヒシかつサンド生産時の残さ(パン耳)を混合した飼料(エコフィード)を与えて、丁寧に育てた「こだわりの逸品豚」をレストラン新メニューとして披露した。宴には国会議員、農水省、千葉県関係者、学校法人服部学園

服部幸應理事長が来賓として出席され、新たにネーミングされた『甘い誘惑』への祝辞の中で誘惑に乗せられ参りましたと挨拶され会場は爆笑……。一流店舗での県産豚肉の利用は朗報であり、後続を期待したい。(事務局 加藤)

青山本店：東京都渋谷区神宮前4-8-5

レストラン予約電話：0120(428)485

青年部養豚経営セミナー開催(平成24年11月29日)

養豚を取り巻く状況は、飼料原料の高止まり、豚枝肉価格の低迷など安定した経営を求める生産者にとって大変厳しい状況に置かれている。

より生産コストの削減が求められている中、自らの経営の立ち位置を知る事により、長所を伸ばし問題点を改善していく事が益々重要である事から、旭市「黄鶴」において青年部(部会長：高橋守)主催で開催され生産者、関係者がこれに参加した。

そもそもベンチマーキングとは、成績の向上のため、現場からの情報を得て、企業の各種成績を継続的に測定・比較することとある。今回、(独)動物衛生研究所山根逸郎氏(獣医学博士)から『養豚業界におけるベンチマーキングシステム』と題する講演と、生産者と関係者とのパネルディスカッションを実施し取り組みについて意見交換を行った。ナイスポーク協議会として平成25年はベンチマーキングに取り組む40~50名の若手生産者を主体に募り、関係機関の協力を得て経営改善に向けた取り組みを推進していきたい。関心のある方の参加を希望する。(事務局 加藤)



(独)動物衛生研究所 山根 逸郎氏

平成24年度ナイスポークチバ活動報告会盛大に開催(平成24年12月10日)



石川県羽咋市役所職員 高野 誠鮮氏

恒例となった平成24年NPC協議会「活動報告会」が千葉市内京成ホテルミラマーレにおいて盛大に開催。第4回目となる特別講演は117名が参加した。講演は石川県羽咋市役所職員 高野誠鮮(じょうせん)氏が執筆された「ローマ法王に米を食べさせた男」(講談社)・副題「過疎の村を救ったスーパー公務員は何をしたか」と題し講演。

Uターンで市役所に就職するも、「起業家魂の欠如」を感じ、集落の活性化から現状の改革の必要性を説き「出来ない理由を考えない」「条件を外に出さない」「出来ない原因の追究」など成功と失敗は紙一重だけど、やるとやらないとでは雲泥の差が生じる。どこの組織の中にも「いてもいなくてもいい職員」「いては困る職員」「いなくてはならない職員」が存在する。さて、貴方はどの位置で仕事をしているのか、と暗に投げかけた。

報告会は来賓、生産者及び賛助会員総勢210名が参加し、平野会長の御礼の挨拶、森田千葉県知事、川名県議会議長、県議会自民党畜産連伊藤会長、JPPA志澤会長からの来賓挨拶。

その後活動報告が行われ、サポーター会員との意見交換会、地元千葉ロッテマリーンズ選手(清田・大谷選手)との交流、色紙・サインボール抽選会など盛り沢山の企画が生まれ、地元銘柄豚(房総ポーク・マーガレットポーク)しゃぶしゃぶ料理とダイヤモンドポークを利用したももハムなど豚肉料理を囲んで消費者との交流、関係機関との情報交換で会場は盛り上がった。

最後は厳しい養豚生産現場を見据え、3項目決議文を採択し会を閉じた。

(事務局 加藤)

決議文

1. TPP参加による例外なき関税制度の撤廃を断固反対します。
2. 養豚経営安定対策事業(全国肉豚)予算の拡充を強く要請します。
3. オーエスキー病の清浄化によりコスト削減に取り組みます。

地元国会議員に対し養豚経営安定対策事業拡充要請(平成25年1月4日・6日)

長引く豚価の低迷により平成24年度養豚経営安定対策事業(全国肉豚)は第1・2四半期の補てんに加え、第3四半期以降基金の枯渇が危ぶまれることから前政権に拡充要請を行ってきました。昨年暮れから平成24年度の補正予算(民主党原案)が検討されており、平成25年1月15日には13兆円規模の補正予算が閣議決定されることになっています。補正予算の中には、養豚経営安定対策事業(全国肉豚)の第3四半期の補てん金不足部分の追加が盛り込まれなくてはなりません。

確実な予算確保のため、年末年始に畜産に対し日頃支援を頂いている地元国会議員である(社)千葉県畜産協会会長、森英介衆議院議員、養豚地帯を選挙基盤である、林幹雄衆議院議員両先生に3項目について要請を行った。



自民党では、民主党政権が立てた補正予算、

25年度本予算を見直し、より日本の農業が活性化するように編成するとあります。昨年秋口からの低豚価の推移から、第3四半期、第4四半期分の補てん金が枯渇することが予測されます。そこで養豚生産者が安定経営を継続できるよう、追加財源を補てんして頂くことの要請であります。

2つ目の要請としては、国内の養豚振興のためのセーフティネットである養豚経営安定対策事業(全国肉豚)において、現状の国と生産者の補てん基金積み立て割合は1:1ですが、肉牛や酪農の経営安定対策事業と同様、国と生産者の積立割合を3:1に引き上げることの要請。3つ目は、将来の我が国の養豚経営安定を図るために「養豚振興法(仮称)」と位置付け法制化をしていただくことの検討をお願いする内容で要請いたしました。(事務局 加藤)

平成24年度 千葉県豚共進会 肉豚の部第2類において山武市の藤崎博道氏が農林水産大臣賞を受賞！ 種豚の部では、印西市の五十嵐修氏が名誉賞を受賞いたしました。



第1類 名誉賞
旭市 青柳茂氏



第2類 名誉賞
山武市 藤崎博道氏

平成24年度千葉県豚共進会(肉豚の部)は10月2日(火)~4日(木)旭市の千葉県食肉公社を会場として、また、(種豚の部)は10月31日(水)八街市のJA全農ちば八街家畜市場においてそれぞれ開催されました。

肉豚の部は1類77組154頭、2類20組160頭の出品があり、第1類(2頭1組)の名誉賞は、旭市高生の青柳茂氏の出品豚に、また第2類(8頭1組)の名誉賞は山武市高富の藤崎博道氏の出品豚が受賞されました。第2類の名誉賞に輝いた藤崎氏の出品豚は、

全頭上物で形質良好、肉質・脂肪の質もよく総合的に素晴らしい枝肉で、農林水産大臣賞を受賞されました。

種豚の部は、今年から種豚オークション出品豚が種豚共進会に出品する形で行われ39頭が出品され、印西市竜腹寺の五十嵐修氏のデュロック種が名誉賞に輝きました。(生産課 金杉)



種豚の部 名誉賞
印西市 五十嵐修氏

◎第36回千葉県種豚オークション結果

	品種	性別	入場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格
純粋種	ラントレース	♀	12	8	52,000	36,000	44,250
		♂	1	1	53,000	53,000	53,000
	大ヨークシャー	♀	1	1	40,000	40,000	40,000
		♂	2	1	54,000	54,000	54,000
	デュロック	♀	-	-	-	-	-
		♂	5	3	105,000	70,000	91,666
一代雑種	L・W	♀	23	4	39,000	35,000	37,000
	計	-	46	18	105,000	36,000	-

注)セリの価格は消費税抜きの価格です。 購買者7名 販売成立39.1%

平成24年度養豚経営安定対策事業

枝肉価格が、生産コストに相当する保証基準価格を下回った場合に、肉豚生産者に対して、その差額の8割を補てんすることにより、養豚経営の安定を図る事業です。

	保証基準価格	平均価格	補てん金単価
第1四半期	460円	440円	1,230円/頭
第2四半期	460円	458円	120円/頭

◎平成24年度肉豚生産安定対策事業(県単独事業)

養豚経営安定対策事業(全国肉豚)において、農家が負担する積立金の一部を助成する事業です。平成24年度は、1頭当たり70円を年度末に年間の契約頭数に応じ、(社)千葉県畜産協会等より直接生産者へ交付いたします。(生産課 金杉)

平成24年度予算額
1,087,623頭×70円=76,133,610円

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

理 事 会

平成24年10月10日(水)千葉県畜産協会・会議室に於いて、千葉県畜産協会新城常務、県農林水産部畜産課高橋主幹の来賓のもと第3回理事会が開催されました。主な協議内容は以下のとおりです。

(1) 平成24年度活動状況

①「TMR利用促進事業について」

本事業については、畜産課、畜産総合研究センター指導のもと県の事業委託を積極的に推進する。

②「農場飼養衛生管理強化対策事業(公募)について」

当NPOが8月に応募した事業は、国から国会予算が成立しないため「保留」扱いとする旨の報告を説明。但し、保留解除となったら、短い期間でも畜産課、各家保等との連携を密にして取組むこととなりました。

③「ちばフェルミエチーズネットワークの事務局受託について」

県(担い手支援課、畜産総合研究センター)、県牛乳普及協会、千葉県畜産協会等から、本ネットワークの設立に当り、事務局をNPOが受け持ってもらいたい旨の要望を説明。協議した結果、NPOは6次産業化の推進を目指していること、畜産団体事務局委託事業を行うことができること等から、(事務局が大きな負担にならない程度に)引き受けることとなりました。

(2) 6次産業化の推進について

関東農政局千葉地域センターで調査した結果を報告。[千葉県ではすでに「千葉6次産業化サポートセンター」が農業NPO内にあり、そこが県内農林水産業全ての窓口となり推進している。]

よって、畜産関係はその棲み分けを農業NPOに願う状況にあり、今年度の活動は6次産業化の講習会の開催を農業NPO等々との協力を得て実施していくこととなりました。

平成24年度事業実施状況

1. TMR利用促進事業

本事業については、県から一部事業委託を受け、今年1月から香取市に於いてTMRの実態調査(生産費、作業時間等)を行う予定です。調査期間が短期間であることから、企画・生産振興・調査部会のメンバーが中心となり関係機関と調整・協議して行く予定です。会議等については以下のとおりとなります。

月日	場 所	議 題	出席状況
10月25日	畜産総合研究センター会議室	平成24年度自給飼料活用型発酵TMR利用促進事業に係る委託事業についての検討会	理事長他4名
11月1日	市原市TMR生産利用牧場	平成24年度自給飼料活用型発酵TMR利用促進事業についての検討会	生産振興・調査研究部会等3名
12月7日	スノー・フレッシュTMR・センター	「TMRセンター視察研修及び地域生産者交流会」	調査研究部会1名

2. 千葉県内における6次産業化の取組み

6次産業化は県内で直売場やブランド肉等を販売している畜産農家で関心が高い。国では農林魚業者と農山漁村の未来を切り開く方向として、法律を作り(23年3月六次産業化法)各種事業等を創設して推進を図っています。

そこで、これから本畜産NPOが畜産分野で6次産業化を取組む場合の推進方法等について、国の直接の窓口である千葉地域センターを10月1日に訪ね県内の6次産業化の現状を調査しました。

◇結果

- ①6次産業化の窓口は県内1カ所(千葉6次産業化サポートセンター)公募で決定、現在は畜産・水産分野等分けて設置する考えはない。他県では農業公社、農業会議、中小企業団体等が窓口、再委託は出来ない。
- ②現在、6次産業化の企画書・提出者は農業、畜産業漁業者等の10事業者を認定している。事業は5カ年計画で承認されても、その後、実施に当たって厳しい査定がある。
- ③県内推進組織は「6次産業化に係る連絡協議会」(36機関)、「千葉県6次産業化推進企画委員会」等がある。
- ④県内プランナー:千葉県8名(民間コンサルタントが主)
- ⑤当NPOとしては、6次産業化のオール畜産のネットワーク作り、情報交換、研修会、新製品の開発等を実施・推進して行きたい。このためには、農業NPOと話し合って棲み分けをしていく必要がある。

◇研修会参加

11月16日、さいたま新都心合同庁舎講堂において「農林漁業成長産業化ファンド等説明会」食料産業局長「農林漁業・農山漁村から日本を元気に」の講演等があり、3名出席しました。

◎現在6次産業の市場規模1兆円(H22)。今後は5年間で3兆円、10年で10兆円に拡大していく。

そのため、①農林漁業成長産業化ファンドの創設(サブファンド各県1カ所)、②加工・販売施設等整備関連予算の抜本の見直し、③地域における農林漁業者等へのサポート体制強化等を強化して行きたいとの、農業振興指針の力強い講話でした。

◎講習会 当NPOでは2月下旬頃に6次産業化の取組みについての講習会を予定しております。

月日	場所	演題
2月下旬頃	千葉市生涯学習センター	①6次産業化をどう取り組むか、②6次産業化の取組み事例

3. 農場HACCP指導員・審査員への派遣及びHACCP推進農場等への指導

千葉県内の農場HACCPの推進を図るため、会員多数の御理解・御協力を得て、中央畜産会主催の農場HACCP指導員研修会(5名)及び審査員研修会(6名)を派遣しました。おかげで、千葉県内の農場HACCP指導体制の充実を図ることができました。

農場HACCP推進農場の指定及び推進状況については以下のとおりです。

① 指定申請	② 指導中	③ 未実施
牛2件、豚2件、採卵鶏5件	牛1件、豚1件、採卵鶏1件、豚認証モデル1件	豚等約20件

4. 農場飼養衛生管理強化対策事業(公募)の推進状況

去る、平成24年12月21日付け農林水産省消費・安全局長から、当NPO法人理事長宛に本事業に係る本年度の事業主体の決定通知がありました。補助金額は1,582千円です。事業は、県内畜産、生産者自ら飼養衛生管理の向上に取り組もうとしている農場等に対して、指導獣医師等を派遣し指導・支援し、もって、県内における衛生管理の向上に資することを目的とした、飼養衛生管理強化のための農場指導です。

主な事業内容は①指導推進計画の策定、指導チェック表の作成、指導獣医師等の認定、②飼養衛生管理強化推進講習会の開催、③飼養衛生管理強化のための農場指導となっています。農場が指導獣医師等に指導経費を支払った額の1/2(1回5千円・年間2回まで)を補助する内容です。家保の補完的業務で、県畜産課及び家保との連携が重要となります。県内で口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等の発生がないよう、是非、本事業の趣旨を御理解の上、会員の皆様の本事業への御協力方宜しくお願い致します。協力頂ける方は事務局まで申し出て下さい。

5. ちばフェルミエチーズネットワーク設立総会(事務局NPOに決定)

平成24年10月24日(水)県庁南庁舎別館 第4会議室においてチーズ生産者及び畜産総合研究センター、担い手支援課、畜産課等関係者18名の出席を得て、設立総会が開催されました。

本会は、現在県内でチーズを製造販売(今後計画)している農家等が集まって交流を深め、製造販売技術の向上、研修、視察等を推進することを目的とした組織です。代表者には知久久利子さん、太田和誠さん、会計監査には高橋憲二さん、事務局にはNPO法人いきいき畜産ちばサポートセンターが原案のとおり承認されました。

現会員は14名、今年度の活動としては、3月13日から18日までの6日間、千葉三越で開催されます「チバテレビ×千葉三越房総フェスティバル」に6会員の手作りチーズが来店されることとなりました。同時期にチバテレビでも農場でのチーズ作りの模様が放映されます。三越ではこれを機会に、千葉三越に行けば地場チーズが販売されていることを定着して行きたいと希望とのことでした。

会員の皆様におかれましては、この期間中千葉市にお越しの際は、千葉三越「房総フェスティバル」手作りチーズのコーナーにお立ち寄り下さり、ご意見をいただければ幸いです。(事務局 薫田)

◎入会申込みや畜産に関するご相談等をお待ちしております。

【お問い合わせ】NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局(社)千葉県畜産協会内)

TEL:043-241-1738 FAX:043-238-1255 正会員68(内、団体10)・賛助会員2(団体)



ちば畜産レディースネットワーク会報 通算第9号



モ〜モ〜フ〜フ〜コケッコ〜



千葉県内の畜産に携わる女性のみなさんの会報です。

活動記録

1 第6回千葉県畜産フェアで「ミルクくずもち」を販売、ちばの畜産をアピール！！

平成24年10月6日（土）、千葉県畜産のPR、県産畜産物や県産食品の消費拡大及び消費者との交流を目的として、第6回畜産フェアが開催され出展24団体の1つとして、畜産レディースは「ミルクくずもち」を会場内で製造・販売しました。

今回は船橋競馬場の改修工事と重なり、例年同時開催されるフリーマーケットが休止となり人出が心配されましたが、天候にも恵まれ入場者は約2,600人を数え、畜産レディースのブースにも多く



(ミルクくずもち製作スタッフ)



(くじ引きの景品も大人気)



(モーモー君も呼び込みの一役)

の消費者にお出でいただき、会員の皆さんが心を込めて県産牛乳100%で作った「ミルクくずもち」1皿（3個）100円を買って、更に「くじ引き」で好評の会員手作りの牛クッキー、ミルクプリン、マドレーヌ、フランクフルト、燻製玉子、味噌、お米等を引き当てて、満面の笑みで「ありがとう」に拍手喝采……。畜産レディースの心意気と畜産の大切さが伝わったように思います。反省会では「来年はもっとアピールしよう」の力強い声も聞かれました。

2 「畜産後継者の育成と確保」をテーマに第3回情報交換会が開催される。

平成24年11月16日（金）、印旛合同庁舎・大会議室（佐倉市）を会場として、畜産後継者の育成と確保をテーマに後継者の体験談を中心に意見交換が行われました。

交換会は、始めに担い手育成に詳しい印旛農業事務所改良普及課グループリーダーの市原重信先生に「農業（畜産）後継者の現状と課題について」と題してご講演をいただき、後継者問題のポイントと後継者対策へのアプローチを学び参加者が共通認識を持った上で、後継者から体験発表をいただきました。

体験発表は、山武市で酪農に就農された八角洋平（32歳）さん、匝瑳市で養牛（肉用）に就農された熱田美幸（30歳）さん、東庄町で養豚に就農された貫川恵子（28歳）さんの3名から、①経営概要、②就農した時期、③就農に至った経緯、④就農してよかったこと、⑤就農して気付いた問題点や課題、⑥これから後継者として就農される方へのアドバイス、⑦後継者を育てるための経営者へのアドバイスの7項目に沿って発表後、レディースの面々からは「経営移譲は早い方がよい」、「経営内容の把握が



市原先生の講演に熱心に耳を傾ける参加者の皆さん



就農8年目、親とのコミュニケーションは不可欠、親は任せた事に手を出さないことが大事と話す八角さん



就農7年目、他の経営を見て自己の経営を知る、親は後継者を外に出してあげ、任せる部分を作ることが大事と話す熱田さん



就農7年目、たくさん外に出て友人をつくること、親は適度な距離感をもって見守ることが大事と話す貫川さん

大事よ」、「嫁には自然の流れの中で現場の仕事を」、「嫁の手も必要になる」などの意見、そして皆さんの「頑張ってください」の励ましの声……。大変に有意義な意見交換となりました。

なお、後継者育成のポイントとして、高収入農家に若い後継者が多いことから「儲かる」農業の指導、幼少時期から畜産に触れ「畜産が好き」になるような方策、研修等において経営的役割分担を明確化し後継者としての意欲と責任感を持たせる、意欲と希望を与える行政や関係団体の継続的支援及び組織間の連携交流による情報交換を図ることが重要と思われます。

お知らせ

平成25年度は、ちば畜産レディースネットワーク役員改選の年にあたります。レディース事業活動の活性化を図るべく新体制に、多くの畜産に携わるレディースの皆さんの参加をお願いいたします。（事務局 榛葉）

*会員だよりは紙面の都合でお休みです。

2012年(第6回)千葉県畜産フェア開催

平成24年10月6日(土)船橋競馬場ふれあい広場において第6回千葉県畜産フェアが千葉県・船橋市の後援、関係団体、出展団体等の協力のもと、また、多数の団体より協賛をいただき盛大に開催されました。

本年度は競馬場内の改修工事が行われており、昨年までの会場が使用できなく出展団体等は狭い場所のブースで行われました。

開会式には千葉県農林水産部長、船橋市長が出席をされ、出展者に激励の挨拶をいただきました。

イベントではウルトラクイズに替わり地元松ヶ根部屋力士による子どもたちとのじゃんけん大会、



千葉県農林水産部長 永妻能成氏



船橋市長 藤代孝七氏



力士やマスコットも集まって記念写真

力士による餅つき、搾乳体験、骨密度測定、ミルクくずもち、焼肉試食販売等実施され、抽選会場では豪華な景品(牛肉・豚肉等)が漏れなく当たり盛り上がっていました。来場者には千葉県産畜産品の安全・安心等PRし、無事終了することができました。(企画課 大崎)

今回もたくさんの方にご来場いただきました。同時開催されたふれあい広場では、乗馬体験、ダートマラソンなどの催し物がありました。



平成24年度「農水産就業相談会」開かれる

去る11月23日の勤労感謝の日に千葉市内のQiball(きぼーる)にて、これから農業を始めたい、携わりたいという人のための相談会が開かれました。当日は雨模様にもかかわらず125名が相談に訪れ、先輩新規就農者の体験談や各個別ブースでの就業相談などに臨みました。

畜産協会のブースには2名が訪れ、就農の動機を熱く語る一方、県内の畜産事情、就職事情などに熱心に耳を傾けていました。

はるばる東京板橋から駆け付けた女性は「いま大学の3年だが、卒業後は酪農の牧場で働きたい。」と北海道での実習体験を交えながら胸の内を語ってくれました。アドバイスとして、県内の牧場での体験を重ねるとともに、酪農は繁殖がキーテクノロジーなので、牛の観察眼を養うことと、基礎技術として人工授精師の資格取得なども強く勧めました。来年、どこかの牧場でたくましく働く姿を想像しながら、一見きゃしゃそうだが芯の強そうな背中を相談員3名で見送りました。(事業部 山田)



次代へつなぐ子供達の為にも安全な精肉を



CHEF MEAT CHIGUSA Co.,Ltd

株式会社シェフミートチグサ

〒262-0012 千葉県千葉市花見川区千種町210-5
TEL: 043-259-3705 URL: www.chefmeat.co.jp/

肉用牛肥育経営安定特別対策（新マルキン）事業

肥育牛補てん金単価について【平成24年11月】

毎月払いが継続して実施されておりますので、引き続き販売報告の漏れがないようお願いします。（企画課 大崎）

1 補てん金単価と算定

（単位：円／頭）

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種
平均粗収益 (A)	893,399	529,317	290,986
平均生産費 (B)	903,982	643,426	379,640
差額 (C) = (A) - (B)	△10,583	△114,109	△88,654
補てん金単価 (C) × 0.8	8,400	91,200	70,900

※：100 円未満切り捨て

2 補てん金単価の推移

（単位：円／頭）

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種
平成 24 年 10 月	50,100	113,000	77,800
平成 24 年 9 月	46,300	111,000	82,200
平成 24 年 8 月	82,400	122,000	79,600
平成 24 年 7 月	25,400	115,500	75,000
平成 24 年 6 月	30,900	114,100	76,400

- ①販売確認申出書は販売月翌月の20日までに各事務委託先に提出(厳守)。
- ②出荷時には即家畜改良センターに転出届の手続きをして下さい。(届のない牛は補てん金の対象外となります。)
- ③乗遅れの補てん金交付はいたしませんので漏れないようご注意ください。
- ④全国の補てん金価格の公表は販売月の翌々月の上旬となります。
- ⑤補てん金交付時期は販売月の翌々月の22日位を予定しています。

= 地方競馬全国協会からのご案内 =

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は地方競馬全国協会までご連絡ください。地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。なお、地方競馬の馬主の情報については、下記からもご覧になれます。

地方競馬サイト (<http://www.keiba.go.jp/>)

問い合わせ先 審査部登録課 TEL: 03-3583-2142



地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています。

**「食の安全・安心」のための第1歩は、
「法令遵守」であることを改めて認識してください。**

部 署		TEL	FAX	メールアドレス
総務・企画部	総 務 課	043-242-5417 (代)	043-238-1255	info@chiba.lin.gr.jp
	企 画 課	043-242-6333		oosaki@swan.ocn.ne.jp
事 業 部	経営・環境課	043-241-1738		okuzumi@swan.ocn.ne.jp
	衛生指導課	043-241-1738		chieishi@aioros.ocn.ne.jp
	生 産 課	043-241-3851		kanasugi@np-chiba.jp
URL http://chiba.lin.gr.jp				